

平成 21 年 1 月 8 日

各 位

会 社 名 アウンコンサルティング株式会社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 信 太 明  
 (コード番号 2459 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員  
 橋 川 徹 也  
 T E L 0 3 - 3 2 3 9 - 2 7 2 7

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 7 月 14 日の決算発表時に公表しました業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

- (1) 平成 21 年 5 月期第 2 四半期連結累計業績予想数値の修正(平成 20 年 6 月 1 日 ~ 平成 20 年 11 月 30 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	2,501	214	215	127	1,770.75
今 回 修 正 予 想 ( B )	2,333	122	125	78	1,091.44
増 減 額 ( B - A )	168	92	90	49	-
増 減 率 ( % )	6.7%	43.0%	41.9%	38.6%	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 5 月期第 2 四半期)	-	-	-	-	-

- (2) 平成 21 年 5 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 6 月 1 日 ~ 平成 21 年 5 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	5,063	603	604	349	4,866.91
今 回 修 正 予 想 ( B )	3,798	103	106	66	914.10
増 減 額 ( B - A )	1,265	500	498	283	-
増 減 率 ( % )	25.0%	82.9%	82.5%	81.1%	-
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 5 月期)	5,097	620	638	382	5,331.34

## 2. 個別業績予想の修正

- (1) 平成 21 年 5 月期第 2 四半期個別累計業績予想数値の修正(平成 20 年 6 月 1 日～平成 20 年 11 月 30 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,501	128	128	76	1,063.75
今回修正予想(B)	2,114	60	63	38	539.30
増減額(B-A)	387	68	65	38	-
増減率(%)	15.5%	53.1%	50.8%	50.0%	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年5月期第2四半期)	2,577	335	336	202	2,828.39

- (2) 平成 21 年 5 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 20 年 6 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,063	383	384	228	3,172.36
今回修正予想(B)	3,338	18	15	17	235.45
増減額(B-A)	1,725	401	399	245	-
増減率(%)	34.1%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成20年5月期)	5,097	599	618	370	5,162.85

## 3. 業績予想数値修正の理由

当第2四半期においては、平成20年9月におこった米リーマン・ブラザーズの経営破たんによるショックが米欧金融機関の連鎖破たんへと広がり、世界的な金融危機へと展開いたしました。わが国においても輸出関連企業を中心に景気への影響は大きく、急速に景況感が悪化することとなりました。

こうした環境のもと、当社は既存の検索エンジンマーケティング(SEM)事業と親和性の高い事業領域への進出を通じてウェブマーケティング支援ニーズに広く対応できる体制の充実をはかってまいりました。また、同時にインターネット広告市場のみに依存する事業構造からの転換を進めてまいりました。しかしながら、当第2四半期においては、周辺環境の変化のスピードが想定以上に速く、その対応が遅れる結果となりました。

当第2四半期の業績予想につきましては、企業収益動向が急速に悪化する環境において、検索エンジン最適化(SEO)については、クライアントのコスト削減の影響を受け、コンサルティングサービスから成果報酬型へ需要がシフトしつつある流れもあり減収となる見通しとなりました。

検索連動型広告・コンテンツ連動型広告(P4P)についても、当社では引き続き高い付加価値を追求したサービスをすすめてきましたが、クライアントのコスト削減に加え価格競争が一層激しさを増している

なか、減収となる見通しとなりました。上述した減収要因に伴い、営業利益についても減少いたしました。

通期の業績予想につきましては、こうした厳しい事業環境が継続することが予想されるため、上記の通り修正いたしました。

今後は早期に構造改革を完了し、多言語マーケティング支援の基盤を確かなものとし、市況の変化に応じたサービスニーズへの対応を迅速に行なってまいります。こうした変革を通じ高い利益率を確保できる強固な経営基盤を構築すべく、全社一丸となって取り組んでまいります。

#### 4. 配当予想の修正

(金額の単位:円)

(基準日)	一株あたり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想(20年7月14日発表)	-	-	-	900	900
<b>今回修正予想(B)</b>	-	-	-	400	400
当期実績	-	-	-	-	-
前期実績(平成20年5月期)	-	-	-	-	1,000

前期配当 1,000 円には、設立 10 周年記念配当 100 円を含んでおります。

#### 5. 配当予想修正の理由

本日発表の業績予想の修正に伴い、平成 21 年 5 月期の期末配当金につきまして、誠に遺憾ながら、当初予想しておりました 1 株当たり 900 円を 400 円とさせていただきたく存じます。

株主の皆様には、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

今後は、早期に構造改革を完了し、高い利益率を確保できる強固な体制を構築すべく、全社一丸となって取り組み業績の回復に努めてまいりますので、引き続きご支援の程、賜りますようお願い申し上げます。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。

以上